

令和2年度第12回青森市子ども会議（活動報告会） 開催概要

- 1 日 時 令和3年3月20日（土） 13時00分～15時00分
(本番：14時00分～14時30分)
- 2 場 所 青森市役所本庁舎2階 庁議室
- 3 出席者 青森市子ども会議委員16名、子どもサポーター3名
市長、事務局7名
- 4 プログラム
 - 1 開会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 子ども会議委員による活動報告
 - 4 卒業委員から後輩へのメッセージ
 - 5 市長からの感想
 - 6 閉会

5 開催概要

1年間の活動の成果を報告する活動報告会の日がやってきました。本番1時間前の13時に集合し、最終リハーサルを行いました。

14時になり、いよいよ本番です。委員の司会進行により、まずは市長のあいさつからはじまりました。



市長あいさつ

みなさんとお会いするのは、昨年9月に行った第1回子ども会議以来となります。みなさんには「青森市のすばらしいところをPRするCMを作ってください」という大きなミッションをお願いしましたが、半年という短い間で、本当にすばらしい動画ができたと聞いています。

この後、2つの青森市のPR動画を見せていただくと思っていますけども、きっとすばらしいものになっているのではないかと考えています。なお、本日は子どもサポーターのみなさんにもご参加いただいております。コロナ禍で大変な状況の中、子ども会議の活動にお力添えいただいたことに、心から感謝申し上げます。

オンラインのみなさんも、自分が作った作品、それからもう1つのチームの作品にもエールを送ってください。本日は楽しみにしています。よろしく申し上げます。



子ども会議委員による活動報告

【ラセラ！あおもりトラベラーズ グループ】

私たちは「青森市以外に住む同年代の子どもたちに、青森市の魅力を伝え実際に青森を旅してみたいくなるような動画を作ろう」という目標のもとで活動してきました。そのため、中学生である主人公とその妹が東京から来た友達に市内のおすすめスポットを案内するというストーリー仕立ての内容にし、見る人が登場人物たちと一緒に旅しながら、青森市の魅力を知れるつくりをしました。また、おすすめスポットまでの行き方も知れるので、実際に旅行計画を立てるときの参考にもなる動画となっています。

撮影の際は、津軽弁と標準語を使い分けたことが大変でした。編集を担当したメンバーによると、時間配分やテロップ作成、音量調整など本格的な動画を作るのが大変でした。

ナレーションを考える際は、ほかのメンバーも一緒に考えてくれたのでうれしかったです。グループの人たちと協力して一つの動画が出来上がった時には達成感を感じました。

この動画によって、市外の人たちが青森市に行きたいと思ってくれたらうれしいです。



【News Sushika (ニュース スシカ) グループ】

News Sushika というチーム名は、この動画の主題であるカシスを逆さ読みして考案されました。動画でカシスを取り入れた理由は、カシスには様々な健康効果がある反面、全国的にも知名度が低いからです。青森といえば、りんごやねぶた、海産物と答えるのは一般的ですが、もう一つ青森市が生産量全国一位を誇るカシスも知ってもらいたいと私たちは考えました。まず、カシスについて知るため、あおもり産品支援課に取材をし、その後、青森県観光物産館アスパム、ねぶたの家ワ・ラッセなどを訪れ、動画を撮影しました。子ども会議の活動は、ほやランプという新たな青森市の特産品を使った商品を知るきっかけともなりました。活動を振り返ると、メンバー全員で協力し、ユーモアのあるとても良いカシスの PR 動画を作成できたと思います。この動画を見て、少しでもカシスの売上向上やカシスのことを知っていただくきっかけになればいいと考えています。



2グループからの発表が終わった後、市長へ活動報告書を提出しました。活動の中で楽しかったことなどが書かれてありますのでどうぞご覧ください、と市長へ手渡しました。

活動報告書は、市民のみなさんにもご覧いただけるよう、5月ごろまでに、市民図書館や学校、児童館、市民センターなどに設置する予定です。



卒業委員から後輩へのメッセージ

今年卒業になる委員からメッセージをいただきました。

<卒業委員からのメッセージ>

私は、小学校6年生の時から、子ども会議委員として活動してきました。8年間の活動を通して、今年度の活動はこれまで行った活動の中で、一番の濃いものになっていたのではないかなと感じています。今年度の委員のみんなは、活動する回数が例年より少なかったため、1回1回の活動を大切にしている、その熱意がすごく伝わってきて、私も感化されました。今年はとても充実した活動ができていたし、毎回子ども会議に来るのがすごく楽しみでした。楽しく活動できたのは、みなさんのおかげだったと思います。今まで一緒に活動していただきありがとうございました。来年度は、私もサポーターとして微力ながらみなさんの活動を支えていきたいと思っています。

本当にありがとうございました。



続いて、これまで活動を支えていただいたサポーターが4月より市外に転勤となることから、子ども会議委員に対しメッセージをいただきました。

<サポーターからのメッセージ>

今年1年みんなと活動してきて、社会人である私も、1回1回の会議でみなさんから学ぶことが多かったです。これからサポーターや委員として引き続き活動していかれる方は、また新しい活動にむけてがんばっていただきたいです。

今回は動画撮影をメインに活動してきましたが、子ども会議は子どもの権利条約があって会議が成り立っていることだと思います。

みなさんも、子どものうちから子どもの権利について考えて、社会人になったら1人1人に人権というものがあるんだ、ということ意識して活動して欲しいと思います。



最後に、サポーターへのサプライズとして、サポーターに手作りのプレゼント（けんりはかせのキーホルダー）を手渡しました。

喜んでもらえたようで、サプライズ成功となりました。



市長からの感想

せっかくなので、委員のみなさんに活動を行った感想を聞いてみたいと思います。

<子ども会議委員からの主な感想>

- ・動画に出演してみても、演技などが自然にできてよかった。
- ・大きなプロジェクトで動画を作るのは緊張したけど楽しく動画を作ることができた。

2つの動画ですが、1つは四季を通じて青森の良さを紹介いただき、もう1つはニュースのような仕立てで食レポなどを行い、青森の食を紹介してくれました。2つとも角度が違う動画なので、どちらか1つだけをYouTubeのせるわけにはいかないということがよくわかりましたので、両方とも青森市公式チャンネルにのせさせていただきたいと思います。

青森市子ども会議、今年もすてきな活動をしてくれて、ありがとうございました。



閉会

最後に、みんなで記念撮影を行いました。



これで、令和2年度の活動はすべて終了です。みなさん、半年間の活動おつかれさまでした。